



### 主要茶産地における自国内消費量の推移

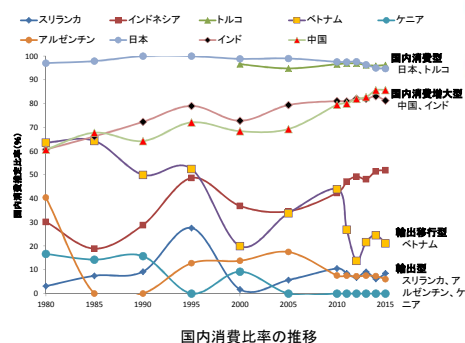
亜熱帯地域における茶生産は輸出向きから国内消費向きへの増加も見られ始めている  
⇒プランテーション茶葉からの変化

表 自国内消費量の推移(1000t)

	スリランカ	インドネシア	トルコ	ベトナム	アルゼンチン	日本	インド	中国
1980	6	32	96	14	19	99	347	199
1985	16	21	137	18	0	94	435	309
1990	22	45	123	16	0	90	517	361
1995	68	75	103	21	6	85	595	439
2000	5	62	172	14	8	88	545	493
2005	18	54	128	45	14	99	751	648
2010	35	64	114	77	7	81	783	1173
2011	28	67	127	48	7	80	903	1300
2012	22	68	127	24	6	84	924	1468
2013	31	66	129	39	6	80	984	1592
2014	21	70	118	43	6	77	1003	1795
2015	28	67	128	36	5	72	975	1953

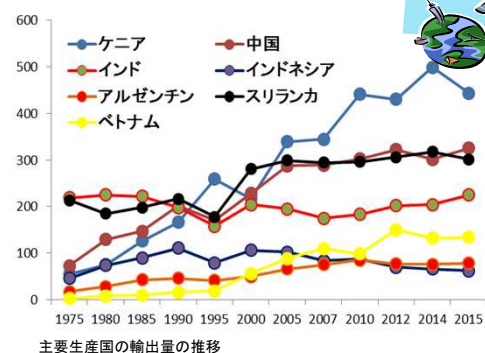
日本は自国内消費量が減少しているにもかかわらず、インドや中国は所得の向上とともに自国内消費が激増している

### 主要茶産地における生産量に対する国内消費比率の推移



世界の主要茶生産大国である中国、インドの国内消費量の増大化により、輸出に変化が生じている。

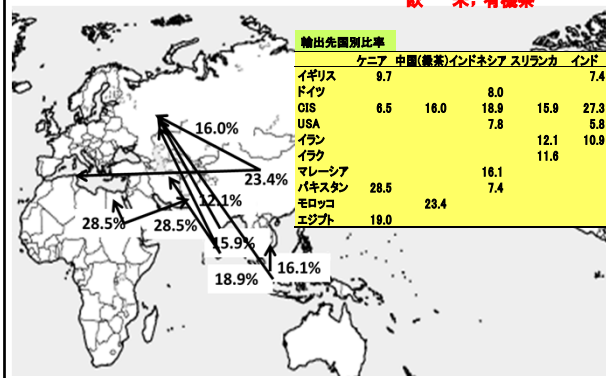
### 主要茶産地における輸出量の推移



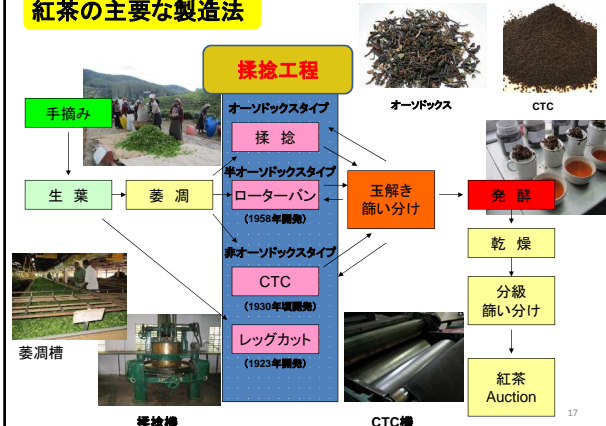
かつては、インド、スリランカが輸出の主要国であったが、現在ではケニア、スリランカ、中国に変化している

### 主要茶産地の主要な輸出先

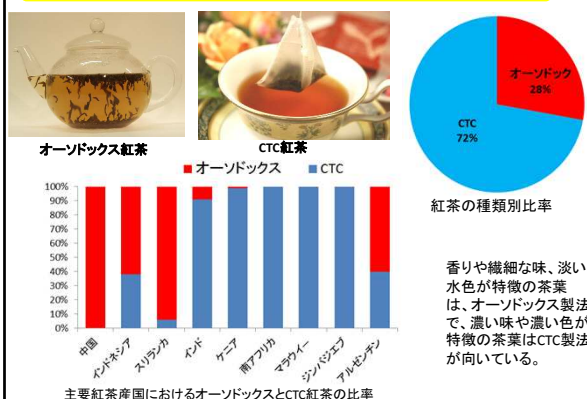
輸出先の変化は生産にも影響  
中近東: CTC  
欧米: 有機茶



### 紅茶の主要な製造法

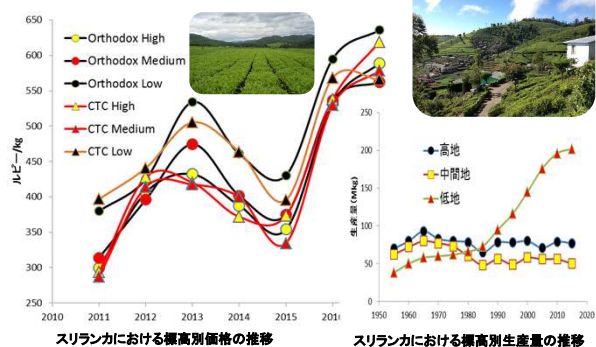


### 主要茶産地におけるオーソドックスとCTC紅茶の比率



### スリランカにおけるオーソドックとCTC紅茶の価格の推移

かつての銘茶産地が苦境に立たされている



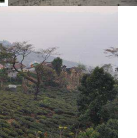
スリランカにおける標高別価格の推移

スリランカにおける標高別生産量の推移

### 高地の有機栽培茶園(インド、ダーズリン周辺)



高標高茶園では有機栽培が増加している



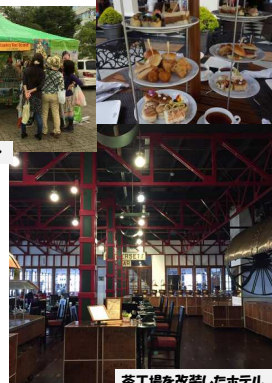
### 高地の観光茶園(スリランカ、ヌワラエリア)



銘茶産地の紹介



茶園を走る列車



茶工場を改装したホテル

### 課題と方向

#### 課題

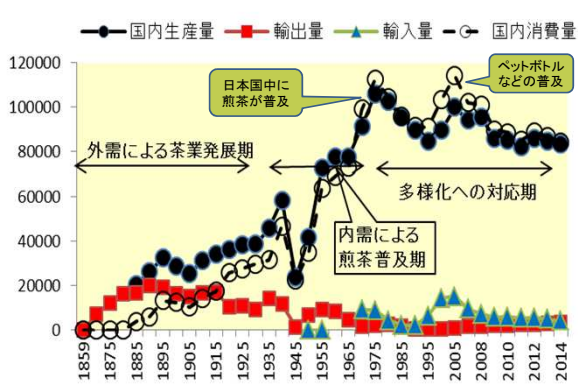
- ★生産コストの上昇
- ★気象変動による生産の不安定化
- ★新旧産地の格差拡大
- ★スモールホルダーの脆弱性
- ★簡便化志向
- ★多様化 など

#### 今後の方向

- ★ 需要の拡大
  - ・品質向上
  - ・新商品開発
  - ・他用途利用
  - ・有機栽培茶
  - ・機能性エビデンスの付与
- ★ 気象変動への対応
  - ・優良品種の導入
  - ・栽培管理技術
- ★ 経営力の向上
  - ・機械化による低コスト化
  - ・労働コストの低減化対策
  - ・需給バランスの維持 など

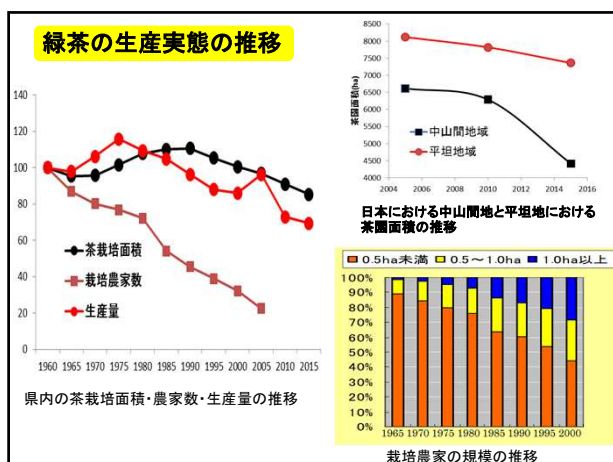


### 緑茶の生産量・消費量などの推移



### 主要茶産地における農業生産収入に占める茶業の比率

平成5年	平成26年	平成5年	平成26年	平成5年	平成26年
静岡市 46.3	静岡市 12.8	沼津市 23.3	沼津市 12.7	相模原市 70.1	相模原市 35.9
清水市 32.0				横浜町 73.3	
藤原町 0.0					
由比町 1.8					
浜松市 3.0	浜松市 1.4	富士宮市 5.6	富士宮市 1.6	島田市 59.0	島田市 42.4
天竜市 46.8		芝川町 10.1	芝川町 1.6	金谷町 83.5	金谷町 83.5
浜北市 2.1				川根町 90.0	川根町 90.0
龍山村 78.5		富士市 38.9	富士市 19.1		
佐久間町 59.8		富士川町 7.2	富士川町 19.1	中川根町 92.1	中川根町 57.6
水窪町 44.3		藤枝市 42.6	藤枝市 13.0	本川根町 88.5	本川根町 57.6
舞阪町 0.0		岡部町 51.0	岡部町 13.0		
雄略町 0.0				磐田市 27.1	磐田市 14.4
雄略町 0.0		菊川町 68.6	菊川町 37.7	竜洋町 0.1	竜洋町 0.1
細江町 3.8		小笠町 37.3	小笠町 37.3	豊田町 9.5	豊田町 9.5
引佐町 2.3				豊岡村 5.9	豊岡村 5.9
三ヶ日町 0.0		掛川市 58.8	掛川市 18.6	福田町 0.0	福田町 0.0
香野町 25.3		大東町 24.0	大東町 18.6		
		大須賀町 16.7	大須賀町 16.7	袋井市 26.6	袋井市 11.1
				浅羽町 6.9	浅羽町 6.9



今後ますます多様化  
二極化が予想される

中山間地と平地地  
では対応が異なる

高付加価値化

低コスト化

消費者は何を望んでいるのか!?